

※文字サイズ等は適宜変更してかまいません。

記載例

主任技術者兼任承認申請書

令和〇年〇〇月〇〇日

九州産業保安監督部長 殿

記載する内容
○個人の場合
郵便番号、住所、代表者氏名
○法人の場合
郵便番号、本店所在地、商号、代表者の
役職・氏名、法人番号
※代表者以外が申請する場合は委任状を
添付してください。

〒000-0000
住所 〇〇県〇〇市〇〇△-△-△
氏名 〇〇 株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
法人番号：1234567890123

電気事業法施行規則第 52 条第 4 項ただし書の規定により次のとおり主任技術者の兼任の承認を受けたいので申請します。

兼任させようとする主任技術者	氏名及び生年月日	〇〇 〇〇 〇〇年〇〇月〇〇日
	住所	〇〇県〇〇市〇〇◇-◇-◇
	主任技術者免状の種類及び番号	第〇種電気主任技術者 第〇〇-〇〇〇〇号
選任しようとする事業所の名称及び所在地	〇〇(株)△△工場 〇〇県〇〇市△△1-1-1	
既に選任されている事業場	名称及び所在地	〇〇(株)本社ビル 〇〇県〇〇市△△2-2-2
	選任された期日	〇〇年〇〇月〇〇日

- 備考 1 法附則第 7 条又は第 8 条の規定により法第 44 条第 1 項の主任技術者免状の交付を受けている者とみなされる者に係る場合は、その旨を主任技術者免状の種類及び番号の欄に記載すること。
2 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

兼任を必要とする理由書

※以下の内容を文章にて記載して下さい。

- ・申請事業場には、専任できない理由があり、かつ、主任技術者免状の交付を受けている者がいないこと。
- ・申請事業場の電気工作物の概要（受電電圧、最大電力、設備容量など）を記載し、主任技術者が兼任（常時勤務しない）でも問題ない設備規模であること。
- ・兼任させようとする者の所属（設置者の役員・職員、又は設置者と資本関係のある企業の役員・職員、その他）を記載し、電気保安に深い経験を有し、かつ、兼任したい事業場の電気設備について十分に理解をしていること。
- ・以上の理由から兼任させようとする者を主任技術者として兼任させたいこと。
- ・なお、最大電力 2,000kW 以上となった場合、又は、最大電圧が 7,000V を超えた場合は専任の主任技術者を選任すること。

主任技術者の執務に関する説明書

1 主任技術者を兼任させようとする申請事業場の名称、所在地及び電気工作物の概要

名 称 ○○(株)△△工場
所 在 地 ○○県○○市○○1-1-1
電気工作物の概要 需要設備
電圧：○○kV、最大電力：○○kW、設備容量：○○kVA
非常用予備発電装置①
種類：ディーゼル（ばい煙）、電圧：○○V、出力：○○kW
非常用予備発電装置②
種類：ディーゼル、電圧：○○V、出力：○○kW
発電所
種類：太陽光、電圧：○○V、出力：○○kW

2 主任技術者が常時勤務する事業場の名称、所在地、申請事業場との関係

名 称 ○○(株)本社ビル
所在地 ○○県○○市△△1-1-1

(イ) 常時勤務する事業場から申請事業場までの距離、交通機関及び所要時間

距 離 ○○キロメートル
交通機関 社用車
所要時間 ○○分

(ロ) 主任技術者の自宅から申請事業場までの距離、交通機関及び所要時間

距 離 ○○キロメートル
交通機関 自家用車
所要時間 ○○分

3 申請事業場における執務に関する説明

- (1) 電気工作物の工事期間中は週1回以上、その他の場合は月1回以上の執務を行い、点検を実施する。
- (2) 1回の執務時間は、○○時間以上とする。
- (3) 事故発生、官庁検査その他必要な場合は随時執務を行う。

4 主任技術者に連絡する連絡責任者

保安全管理部 保安課長 ○○ ○○